

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際学部国際学科グローバル専攻

留学先国名

フィンランド

留学先都市

ユヴァスキュラ

留学先大学

ユヴァスキュラ応用科学大学

留学先所属学部

観光マネジメント学部

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年8月～2023年5月

学年（出発時）

3

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 05 / 24

1.留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

フィンランドでは大学と応用科学大学があり、大学ではアカデミックな教育、応用科学大学ではより実践的な教育を提供しています。応用科学大学の観光学部では授業の一環として企業訪問やホテル訪問などが頻繁に行われ、実用的、実践的であると感じました。授業は30名程度の少人数で行われることが多く、ディスカッションが活発で、グループワークも非常に多い印象を受けました。生徒と教授との距離は基本的に近く、会話や質問の機会は沢山ありました。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

サポートは受けませんでした。ビジネス英語、フィンランド語、スウェーデン語などの講義が開講されています。

勉強面でのサポート

Moodleというサイトで授業のスケジュール確認から課題提出まですべて行うことができ、便利でした。近畿大学では観光学について深く学んでおらず、基礎知識が不足しており心配だという旨を教授に相談すると、観光学入門講座のページのアクセス権や資料などをもらうことができました。教授たちは全体的に非常に気さくですぐに相談し、サポートしてもらえる環境でした。

精神面でのサポート

特に受けていないのでよくわかりません。

生活・住居面でのサポート

KOASという寮の会社にメールや電話でサポートを受けることができます。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

一人部屋のアパートメントはdegree studentで枠が埋まっている可能性が高く、交換留学生は基本的に二人か三人のシェア（各自自分の部屋あり、キッチンとバスルームはシェア）が多いです。食器や鍋など基本的なものは揃っていました。ハウスルール（掃除の頻度、友達を呼ぶときは許可をとる、一緒に買うもののお金の分け方など）を最初にしっかり決めておけば問題は起きないと思います。

(2) パソコンについて PC の保有状況

- ☒ 日本から持参した
- ☐ 現地で購入した
- ☐ 保有しなかった

Wi-Fi の有無

- ☒ 有
- ☐ 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

家賃に含まれていました。

大学での PC の使用可否

- ☒ 使用できた
- ☐ 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

大学の敷地内は繋がります。時間制限はありませんでした。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

- ☐ 有
- ☒ 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべき ことを記入してください。

病院の仕組みが日本とは異なりました。フィンランドではヘルスセンターや民間のクリニックでまず診察を受け、医師が必要性を認めた場合に限り診断書が病院に送られ、診療を受けることができます。病院はその診断書とアポイントメントがなければ診療してもらえません。ヘルスセンターは営業時間が短かったです。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

開設しませんでした。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

フィンランド人はパーソナルスペースが広いと感じました。バスを待つ時も、列を作って待つのではなく、バス停の周りに等間隔でポツンポツンと立っていました。お店の営業時間がとても短いのも驚きました。日曜日は16時にはほとんどの店が閉まり、街の中心に行ってもシーンとしており、人はあまりいません。休日は家でゆっくり過ごしたり、ホリデーコテージに出かけるというフィンランドの文化を学びました。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

課外活動で、Friend and Family programに参加しました。そのプログラムでフィンランド人の家族を紹介してもらい、週末に出かけたり、おうちにお邪魔して食事やお茶をしたりしてフィンランドの実際の暮らしを体験することができました。日本に興味があるご家族だったので日本料理を一緒に作ったりもしました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

酔っ払いには近づかない様にする、知らない人に話しかけられても足を止めず歩き続ける、断る時ははっきりと断る、など留意していました。フィンランドは治安が非常によく怖い思いをしたことはあまりありませんが、万が一の時のためルームメイトと位置情報を共有していました。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

<https://suvi-finland.com>

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

カードは違う会社のものを二三枚、タッチ決済がほとんどなのでタッチ決済機能付きのカードを持っていくのがいいと思います。（JCBはほとんど使えません。VISAはセキュリティが厳しく頻繁に「不正利用の可能性があったため利用を一時制限しました」となります。Masterはよかったです。）フィンランドには100均の様なものがなく、日本の2,3倍の値段であることが多いです。なので文房具やS字フックなど、高いのに買うほどじゃないけれどあれば便利みたいな百均グッズは小さいし軽いので日本から持っていったほうがいいと思います。ちなみにセロハンテープ700円でした。日本から調味料（醤油、めんつゆ、鶏がらスープなど）を持っていくといいと思います、手に入りますが高いです。ルームメイトたちとお寿司パーティーする時や自分でおにぎり作る時に海苔は本当に重宝しますが、フィンランドでは5枚だけで5ユーロほどするので日本から持っていったほうが良いと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

講義内で観光学についての専門知識を深めることができたのに加え、英語を話すことへの抵抗感がなくなり、自信も得ることができた様に思います。フィンランド人も英語が彼らの第一言語ではなく、それぞれアクセントに特徴があるなか何も気にせず堂々と話している姿を見て自分も見習おうと思いました。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

TOEFLIBT62

留学後－資格試験名称および点数（級）

まだ試験を受けていない

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

体調を崩した際OSMAに電話し相談しようとしたら、モバイルデータのチャージを忘れていて電話をできなかったこと。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数：30人程度

成績評価：レポート二つで100%、ミニテスト二個＋discussionforumへの投稿5回＋レポート三つ＋追加課題二個で100%など講義によって異なりました。

現地学生の取り組み方：予習に非常に力を入れているという印象を受けました。資料を読み込んでさらに類似した例を調べてきて、自分の意見を作ってきて授業に挑んでいました。講義内でみんなよく発言するため議論が二転三転して面白かったです。グループワークの際もスケジュールや役割分担を整理するのに慣れている学生たちが多く、スムーズに進みました。教授のことは下の名前で気軽に呼び、距離も近く、クラス全体で仲がよかったです。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

説明会に参加したり、エントリーシートを書いたりしました。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1€ = 136~151円

(2) 航空運賃

往復25万円（サーチャージ込み）

(3) 住居費

住居費（月額）

42000円程度

住居費（留学期間合計）

420000円

(4) 食費（月額）

約1万6千円

(5) 保険料

10万円ほど

(6) その他

(7) 留学費用の合計

120万円

5.その他 自由に記入してください。

ヨーロッパ留学をして、色々な国のことを知ることができたので良かったです。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム